Departure OC I Revised Edition

'07センター試験リスニングテストの 分析と対策

小森清久

2007年度本試験(③)を試行テスト(①), 2006年 度本試験(②)と比較すると以下のようになる。

平均点 本文総ワード数 設問ワード数 平均速度

- ① 30.42 970words 427words 164wpm
- ② 36.25 1019words 423words 139wpm
- ③ 32.47 1010words 525words 157wpm

読み上げ平均速度は速くなったが、複数の米国人の男女による音声で、昨年と比べて全体的に聞き取り易い。以下、どんな問題で差がついたのかを設問別に分析し、大問別に網羅した対策とDepartureを使った指導法を考えてみた。

第1問 対話文イラスト選択問題 (143.44wpm) 問2 Which tie does the man want to see?









(スクリプト)

W: May I help you?

M: Yes. Can you show me that tie with circles under the stripes?

解説「ネクタイの買い物」がテーマ。平均正答率 約70% と推測。男性の発話... that tie with circles under the stripes? の箇所の under に注意 して聴き取る問題(答①)であったが,④の誤答 が下位レベルで40%程度あったと推測される。

対策 事前に質問とイラスト・数字・文字などに 目を通しておき、聴き取りのポイントを予測して おくこと。数字などの聴き取りは、メモを取った 後で、計算するなどの工夫をするとよいだろう。 **指導のポイント** *Departure* 各課の Get Ready, Listening Challenge 1・2 (Part 1) が有効。

第2問 対話文応答完成問題 (177.82wpm)

- 問9 ① All right, I'll ask him to meet you.
 - ② All right, I'll call him at 4:00.
 - ③ All right, I'll see him.
 - 4 All right, I'll tell him.

(スクリプト)

M: Ms. Tucker, a Mr. Richard Clayton is on the phone.

W: I'm a little busy right now. Could you have him call me back after four o'clock?

解説 「電話の取り次ぎ」がテーマ。平均正答率50%強と推測。女性の発話 Could you have him call me back after four o'clock? に対して,男性の自然な応答を考える。女性の最後の発話にあるfour o'clock につられて,選択肢②の誤答が下位レベルで目立つ。(答④)

対策 文法・構文的なつながりより、内容的なつながりに重点を置くため、柔軟な応答力が求められる。特に、最後に聞こえてくる発話内容(平叙文、Yes/Noの疑問文、5W1Hの疑問文の3タイプ)に神経を集中させる。事前に質問文と選択肢に目を通しておき、聴き取りのポイントを予測しておくことが高得点につながる。

指導のポイント Departure 各課 Dialog が有効。 第3間 A 対話文質問選択問題(161.54wpm) 解説 問14は「劇場への交通手段」がテーマ。平

均正答率80%強と推測。女性の最初の発話 Let's

take a taxi to the theater.から「提案」の内容を聴き取り、男性の最後の発話 Let's go with your idea then.から「同意」したことを理解する。

対策 事前に質問文と選択肢に目を通しておき, 聴き取りのポイントを絞り込んでおく。

指導のポイント Departure 各課の Dialog が有効。 第3問 B 会話文図表完成問題(161.54wpm) 解説「部屋のレイアウト」がテーマ。問19平均正 答率70%程と推測。下位レベルにおいて選択肢⑥ の誤答が50%と目立った。男性の最後の発話 It just fit in the corner farthest from the door, ... の箇所の最上級表現 farthest の聴き取りとその 位置関係の理解が不正確であったと推測される。 対策 事前に質問内容をよく吟味し,男女どちら かの対話に絞って聴き取ると高得点につながる。 指導のポイント Departure 各課の Listen & Speak, Task, Listening Challenge 1 (Part 2), 3 (Part 1), 4 が役立つ。

第 4 問 A 短文内容把握問題 (148.77wpm)

対策 事前に質問と選択肢に目を通し、場面の状況を推測しておく。細部の聴き取りにとらわれ、 全体が理解できなくならないよう注意する。

指導のポイント Departure の Lesson 13, 14, 15, 16 の Task が役立つ。

第4問 B 長文内容把握問題 (148.77wpm)

解説 問25は「女性作家のためのオレンジ文学賞が男女の読書習慣に及ぼした影響」がテーマ。ジェンダー(性差)が読書習慣に与える影響という視点は難しい。平均正答率20%程度と推測。最終パラグラフ最終文の内容を正確に聴き取る。質問文にある According to the researchers' findings, ... が本文 The researchers concluded that ... の言い換えだとわかれば、聴き取る内容を絞り込むことができたように思える。

対策 事前に質問と選択肢に目を通し、内容を推測し、的を絞った聴き取りをする。普段の聴き取り練習では、読み上げられる英文を倍速で聴いた

り、聞こえてくる発話をほぼ同時に口頭で再生する練習(シャドーイング)が効果的である。

指導のポイント Departure Listening Challenge 1, 2(各 Part 2), 3(Part 1) と Listen Up! 1, 3 が有効。 Dialog の Pronunciation Skills はセンター筆記 試験の対策にも役立つ。さらに筆記第 1 問 C の対策として,Function & Grammar も有効である。例えば p.21② Don't you have any hobbies?で you に強調を置くと,話者の意図は I have hobbies. I am surprised that you don't have any. となる。p.83② Why don't (1) you write about the (2) Japanese (3) school system?で(1)~(3)に強調を置いた場合,話者の意図を表す例はそれぞれ次のようになる。

- (1) I don't want to write about the Japanese school system. Why don't you?
- (2) Why did you write about the Korean school system? You should write about the <u>Japanese</u> school system.
- (3) Instead of writing about the judicial system of Japan, why don't you write about the <u>school</u> system?

学習対策

本年度のセンター試験は、第4間Bが難しかった。来年度入試に向け徹底した準備は欠かせない。リスニングの攻略ポイントとして、次の5点が挙げられる。①事前に問題文、選択肢、図表などに目を通し、内容を推測する力をつけること。②談話標識(discourse marker)の聴き取りと新情報(new information)に注意すること。③数の聴き取りと計算の練習をすること。④代名詞の指示対象を把握する練習をすること。⑤聴き取った情報の取捨選択をする力をつけること。「全部、完璧に聴き取れなければならない」と思う必要はない。英語の音を怖がらず、繰り返し英語を聴き、声に出す練習をすることが大切である。

(こもり きよひさ・河合塾講師)